



8/11 豊作、疾病退散を願い

加増野の報本寺で、市指定民俗無形文化財に指定されている、山随権現祭幡回しがおこなわれました。長さ10メートルほどの竹の根元を8人で支え、若衆10数人が、泥まみれになりながら勢いよく引き回し、竹を倒すことなく廻しきればその年は豊作で厄病は退散すると伝えられています。



▼朝日小、勝田庸介くんと沢路佳乃さん(5年生)

▲合唱団リーダーの土屋和さん(北高3年生)

被災地の人のために役立て

新潟県中越沖地震の被災者のためにと、朝日小学校児童会、下田青少年合唱団の代表がそれぞれ市役所を訪れ学校での呼びかけや、チャリティーコンサートなどで呼びかけて募った義援金を市長に手渡しました。市にはこれまでに、12件354,002円の義援金が寄せられており、日本赤十字社を通じて被災地に届けられます。



8/6~11 磯には不思議がいっぱい

夏の磯観察会が須崎エビス島にて開催され、市民や観光客の親子延べ60名が、ゲーム形式で磯の生き物を探し、カニのオスメスの見分け方やタマキビガイの生態などを学びました。



7/25~26 小学生記者が下田を取材

首都圏在住の小学5、6年生12人が「小学生記者・伊豆取材ツアー」で下田を訪れました。朝日小の児童と交流、取材を兼ねた体験学習を楽しみました。下田での体験をまとめた記事は、全国紙の小学生新聞に掲載されます。



8/13 夏の風物詩「盆踊り」

中村中央公園において、盆踊り大会と地藏さん祭りが開催されました。やぐらを中心に、小さな子どもからお年寄りまでみんな輪になって、炭坑節などの曲にあわせ踊りを楽しみました。

- 2日 自然体験活動推進協議会総会
- 4日 静岡県消防操法大会(静岡市)
- 5日 下田市職員採用試験(第一次)
- 8日 臨時市議会
- 17日 共立湊病院組合議会

- 21日 県民の日
- 28日 下田市スポーツ祭総合開会式
- 30日 下田地区消防組合議会
- 伊豆斎場組合議会
- 31日 交通安全啓もう全国キャラバン隊訪問

下田市内の指定文化財 その26

下田市指定名勝

タライ岬―釜の浦海岸

所在地 田牛釜の浦海岸周辺
指定日 昭和51年5月27日

田牛地区南西部にあるタライ岬周辺の海岸線は起伏に富み、波によって形作られた岩石が作る美しい風景と多様な植物によって下田市の名勝に指定されています。

タライ岬の散策は、富士箱根伊豆国立公園タライ岬歩道によって気軽に楽しむことができます。遊歩道は田牛海岸と南伊豆町の弓ヶ浜海岸を起点とする約2・7キロの行程で、歩きやすい道と標識が整備されています。



タライ岬歩道

田牛海岸を出発し、岩をうがった素朴なトンネルを抜けて進むと、路傍に第二次大戦

末期、下田沖で撃沈された自在丸という船の犠牲者を弔った慰霊碑があります。三ヶ月大洞と遠国島慰霊碑を後にしばらく進むと、眼下に三ヶ月大洞と呼ばれる半円状の不思議な洞窟と、切り立った崖壁に緑の木々を乗せた遠国島を見ることができ



三ヶ月大洞と遠国島

三ヶ月大洞には、今から800年もの昔、一体の仏像が流れ着き、村人が洞窟の奥に祠を建て信仰したという言い伝えがあり、この仏像が現在田牛長谷寺に安置されている国指定重要文化財の阿弥陀如来坐像だと言われています。一方、遠国島には、蛭ヶ小島

に流された源頼朝がこの地を訪れ遊んだという言い伝えがあるほか、頂上には古代人の祭祀遺跡があり、下田市の指定史跡となっています。タライ(罌)岬遊歩道を進み、地元の方々の手による椿園を通過するとタライ岬はもうすぐです。森を抜けると視界が急に開け、雄大な海原が目飛び込んできます。洋上には伊豆大島や利島、新島、式根島を望むことができ、天候が良ければ遠く三宅島も見えたりします。名勝タライ岬 釜の浦海岸は、美しい下田の海岸線を代表するものです。みなさんにもぜひ一度散策していただきたいと思えます。



タライ(罌)岬

問合せ先 教育委員会生涯学習課

☎ 5055

樹の葉 vol.67

暑い暑い今年の夏が終わります。この原稿を書いている段階では、まだ夏の総決算は出ておりませんが、7月中旬の大雨、台風4号等の天候不順、未まで伸びた梅雨明け宣言、その後の大雨・雷、西伊豆方面への玄関、土肥の国道崩壊、宇佐美海水浴場のサメ出現騒動と今夏の伊豆半島は、天地異変に振り回されました。きつと厳しい夏の数字が待ち受けていると思われま

す。それでも下田の8月は、例年のとおり熱く盛り上がりました。住吉区(田中康雄区長)と若衆などを中心とした住吉稲荷の祭典が幕開けとなります。太鼓台の巡行や恒例のもち投げが行われ、私も童心にかえり両手一杯のもちを拾い楽しみました。大横町・伊勢町での「夕遊市」では、歩行者天国に多くの市民、観光客でにぎわいました。13日に開かれた県知事杯石廊崎ヨットレースには34艇が参加。真っ青な海に映える白い帆が見事でした。下田の夏を雄壮に彩る八幡神社例大祭「下田太鼓祭り」は炎天下、観光客や帰省客でにぎわう市街地を祭りの熱気に包み込みました。特に若衆が掛け声とともに御道具11体を力で組み上げる太鼓橋には、沿道から大き

な拍手が沸き起っていました。盆踊りも各地で行われ、中、西本郷の盆踊り大会に参加し地域の方々のふれあいを楽しみました。特に、荒れた状態だった「小山田公園」は、萩原英機区長の掛け声で遊具やベンチのペンキ塗りがされ、花壇には区民ボランティアにより多くの花々が植えられ、見違える程きれいな公園となり、まさにキャッチフレーズどおり、まさにキャッチフレーズの輪、心の輪、を区民の協力で実践されていました。圧巻は豪快なカジキ釣りを気軽に体験してもらおうと開催されていた「ビルフィッシュャーフエスタ・イン下田2007」の最終日。なんと120本のヒット、29本の釣果(うち18本をタグ&リリース)最大は143キロのクロカジキで、入れ食いの状態だったと参加者は全員にこころ。主催した市民による「街おこしサポータークラブ」の努力が報われた日でした。フィナーレは荒天のため順延されていた「白浜海の祭典」の花火。久しぶりに砂浜に座り見学しましたが、海上スターマインは見事であり感動しました。下田は素晴らしいところですね!

下田市長 石井直樹

